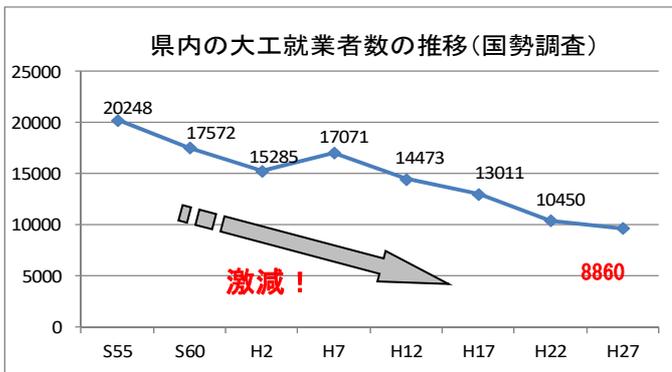


木造建築物の担い手確保に向けた啓発事業

長野県建設部建築住宅課

現状と課題

□大工技能者の減少と高齢化



- ✓ 木造建築物の担い手である大工就業者数が減少
- ✓ 全国の大工技能者の60歳以上の割合が**28.3%**に達しており、団塊世代の大量退職の影響が補いきれない状況
- ✓ 30歳未満の若手大工職人は**3%** (長野県建設労働組合)

木造住宅の担い手である大工技能者の不足は、新築はもちろん既存住宅のリフォーム等、県民の住生活に重大な影響を及ぼすおそれ

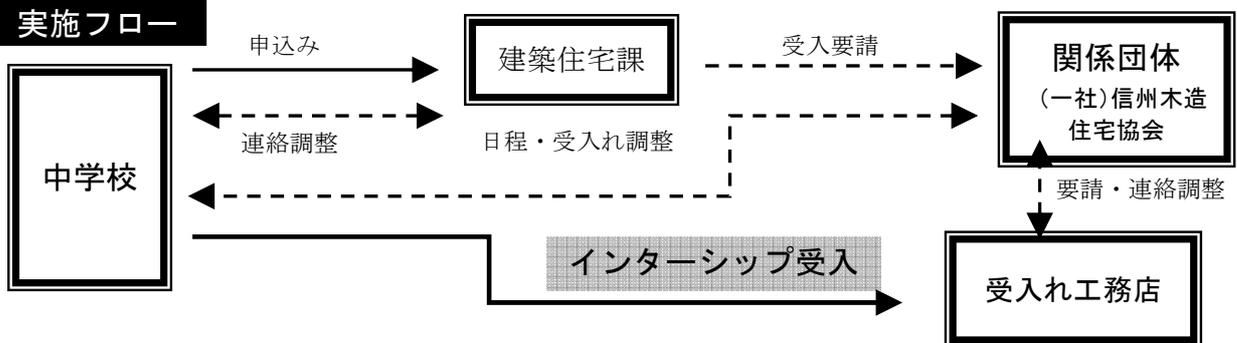
木造建築担い手育成啓発事業

体験する

① 中学生の職業体験(インターンシップ)受入れを促進

- ✓ 関係団体と連携して中学生の職業体験(インターンシップ)の受入れ
- ✓ 木造住宅の建築が体験できる工務店と調整

実施フロー



見る・触れる

② キャリア教育の一環として、中学校へ大工技能者を派遣

- ✓ 大工技能者の技能・技術を間近で見る機会を設定
- ✓ 大工技能者4名を派遣 (県職員2名程度が補助)
- ✓ 木製椅子の組立作業 (材料は県から提供)
- ✓ 木材カンナ削りの実演・体験指導等



実施フロー

